

平成28年3月11日

平成28年第1回議会定例会

行政報告並びに施政方針、提案理由

おはようございます。

桜のつぼみも大きく膨らみ、例年よりも早い春の訪れが感じられるようになりました。

本議会の開会にあたり「黙とう」が捧げられましたように、5年前の本日3月11日は、あの想像を絶する東日本大震災が発生した日であります。

あの日、テレビのニュースで見た自然災害の恐ろしさは、今でも記憶に焼き付いています。あれから5年、被災地の復旧・復興は徐々には進んでいるようですが、被災された人たちの心には、まだまだ癒されることのない傷跡が残されていることと拝察するばかりでございます。

一日も早い復旧・復興を念願いたしますとともに、改めて、自然災害に対する備えを怠ってはならないと心に誓っているところであります。

さて、最近の世界の情勢は複雑化・先鋭化し、各地で発生している内戦やテロ対策、増大する難民問題、そして、大国と言われる国々の駆け引き等々、予断を許さない状況が続いています。

一方、国内におきましても、国の将来を左右する様々な課題や事案が惹起し、時代の大きな流れを感じないではられません。隣接する飯塚市、嘉麻市は合併から10周年の節目の時を迎え、記念祝賀行事が計画されています。また、先日、公表された国勢調査の速報値で、本町の人口は13,509人と公表されました。これは前回に比べて354人、約2.6パーセントの減少となっています。飯塚市、嘉麻市も減少傾向が続いており、圏域をあげての共通課題として、積極的な対策に取り組んでいく必要があると考えています。

さて、本日は、平成28年第1回桂川町議会定例会を開催しましたところ、議員の皆様におかれましては、公私とも大変お忙し中にも拘わりませず、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

それでは、これまでの主な行政報告並びに平成28年度施政方針、本日も提案いたします議案等の提案理由についてご説明いたします。

はじめに、本年3月末をもって、定年で退職する職員は3人、再任用職員が1人、勸奨による退職者が1人の計5人です。欠員の補充及び業務の充実を図るため、4月1日からの採用予定者は一般事務職員2人、保育士3人、保健師1人の計6人を内定いたしております。

次に、安全で安心して暮らせる町づくりを推進する上で、消防団の役割

は重要です。団員の技術の向上、士気の高揚を図ることを目的に、桂川町消防団主催で開催されますポンプ車操法及び小型ポンプ操法大会を支援するとともに、災害時の救助・救援活動の充実強化を図るため、女性消防団員の定員確保に取り組んでいきたいと考えています。

また、平成24年度に設立しました自主防災組織につきましては、防災資機材の支援等に努めるとともに、防災対策の啓発、防災訓練の実施など組織の充実強化に取り組んでまいります。

次に、平成26年11月に公布・施行された「まち、ひと、しごと創生法」に基づき、本町も地方創生総合戦略の策定に取り組んでまいりました。住民アンケート調査や総合戦略会議、本部会議、分野別のプロジェクトミーティング、各課のヒアリング等を実施し、先日開催しました総合戦略会議において、最終的な取りまとめを行ったところです。

総合戦略の内容については、「桂川駅周辺開発・定住促進」、「教育」、「産業」、「王塚古墳」の4つの分野（4本柱）について、検討・協議を重ね、11の基本的方向、19の施策、41のアクションプランを盛り込んでいます。

また、人口ビジョンについては、2040年を目標に国の長期ビジョンを踏まえるとともに、社会保障制度や人口問題などの研究を行う国立社会保障・人口問題研究所が示した人口推計を基礎数値として町の将来展望人口の設定をしています。

なお、総合戦略は、平成27年度から5年間で計画期間となっていますので、平成31年度までを念頭において、町の振興発展のために積極的に取り組んでいきたいと考えております。議員各位のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

次に、ふるさと納税につきましては、平成28年度からの本格的な取り組みに向けて、内容の整備を行っているところです。特に、今まで遅れていた特産品を含む返礼品のリストアップを整え、町の広報誌やホームページ等を活用して積極的な展開を図って参りたいと考えています。

また、地方創生の先行型事業として、王塚古墳をモチーフにしたお菓子の創作や農産物の新たな生産及び販路創出の支援など、特産品の開発事業に取り組んでいるところですが、成果を出すまでに長期間を要することもあることから、平成28年度も引き続き実施し、本町のブランド開発を支援していききたいと思っています。

次に、平成19年度に地方債の繰上償還を実施した際に、その財源として桂川町鉱害復旧かんがい排水施設維持管理基金から7億9,300万円を繰り入れ、当初予定では、平成32年度までに繰り戻すこととしておりましたが、予定より早く、本年2月22日をもって全額の繰り戻しが完了

しました。当該基金の運用によりまして、本町の財政運営上大きな成果を得ることができましたことを大変喜ばしく思っています。関係者の皆様のご理解・ご協力に対し、改めまして厚く感謝申し上げます。

次に、桂川駅南側に建設中の道路、つまり町道山崎・上深町線につきましては、平成27年度で道路用地の買収がすべて完了する予定です。今後の予定は国の交付金配分の影響もありますが、平成28年度は道路全体の中間部の建設工事に着手し、平成29年度の完成を目指してまいります。

また、桂川駅を南側から利用するための改札口等の整備につきましては、現在、JR九州と協議中ですが、実現可能な方法について専門的な見地からの検証を加え、利便性、安全性、経済性等を考慮しながら、最終案の決定にもっていきたいと考えています。

なお、JR協議を進めるために桂川駅活用促進整備検討業務契約をJRコンサルタント株式会社と締結していますが、桂川駅構内の施設及び利用形態に様々な影響をもたらすことから、より慎重に協議を行う必要があると判断されますので、繰越明許を設定し、工期を本年6月末まで延長したいと考えています。

次に、福岡県事業で取り組まれています県道豆田・稲築線、つまり嘉穂総合高校から役場横信号機までの道路の新設については、用地測量・補償調査業務が実施され、現在、順次、用地交渉が進められています。

本町との関係では、道路に係わる土地として、桂川町土地開発公社が所有していたコノマ用地を公社から無償で譲り受けていましたので、その一部を道路用地として県に売買する契約を締結したところです。

今後は、コノマ用地部分の文化財の調査や一部工事の着工、用地補償契約の締結等に本格的に取り組まれると聞いていますので、引き続き、地元調整等の役割を積極的に果たしていきたいと考えています。

次に、町営住宅の建替計画につきましては、4つの町営住宅団地を二反田団地に統合し、6階建ての鉄筋コンクリート住宅を建設する計画であります。平成27年度は建設用地の造成設計及び町営住宅建て替えに伴う開発申請を行っています。

また、県営の二反田団地は昨年9月に建物の解体工事が終わりましたので、底地の県有地を平成27年度事業で買収することとしています。

今後の計画としましては、平成28年度に建物の基本設計及び実施設計を行うとともに、第一棟目の建築用地の造成工事を行います。そして、平成29年度から建築工事に着手し平成30年度の完成を目指しているところです。

次に、社会保障・税番号制度、いわゆるマイナンバー制度につきましては、番号の利用が本年1月1日から開始されました。本町では、すでに申

請されていた方のマイナンバーカードを2月1日から交付しているところ
です。このカードは、本人確認のための身分証明としても使用できますの
で、行政事務の手続き等に便利なカードと言えます。住民の皆様には、安
全・安心なマイナンバーの利用についてご理解とご協力をお願いいたしま
す。

次に、平成27年度の事務として臨時福祉給付金の支給を行いました
が、この支給対象者のうち、平成28年度中に65歳以上になる人を対象とし
て新たに「年金生活者等支援臨時福祉給付金（一人につき3万円）」を支給
することになりました。

関係する予算は、平成27年度の補正予算で措置し、繰越明許を行い、
今年の4月の中旬から申請を受け付けることとなりますので、広報等のお
知らせを参考にさせていただきたいと思っております。

次に、子ども医療費につきましては、現在、通院は小学3年生まで、入
院は中学3年生まで助成していますが、今回、福岡県が平成28年10月
1日から公費医療費支給制度を改正することに伴いまして、同じく10月
1日から、本町の子ども医療費の助成対象年齢を引き上げるための条例案
を提出しているところです。

その内容として、助成対象の範囲を、通院は小学校3年生から小学校6
年生までに、入院は中学校3年生から18歳に到達する年度末までに引き
上げるものでございます。なお、小学生以上の通院及び入院の自己負担に
ついては、現行どおり据え置きといたしております。

本議会に、関係する条例改正及び予算を計上しておりますので、よろしく
お願いいたします。

次に、福岡県後期高齢者医療広域連合では、2年ごとに保険料率の見直
しを行っています。本年2月に開催された広域連合議会において、平成2
8・29年度の保険料率が改正され、全体として引き下げられることにな
りました。

改正後の一人当たりの基準保険料額は、これまでと比較して年額で2,
211円、率にして2.8%安くなり、76,506円となるものです。

平成20年度に制度が開始されて以来、初めての減額となります。今後
とも、高齢者が安心して医療を受けられるために、後期高齢者広域連合と
連携しながら医療費の適正化、健康づくりの推進・啓発に努めてまいりま
す。

次に、「桂川町地域福祉計画」及び「男女共同参画基本計画」の策定につ
きましては、それぞれ策定協議を行ってきたところです。今後は、計画に

基づき、本町における地域福祉及び男女共同参画推進に関する関連事業等の実施に努めるとともに、男女共同参画に関する条例の制定に向けて取り組んでいきたいと考えています。

次に、健康診査や各種検診等に基づく医療・介護に関する情報を一元的に管理するための「健康管理システム」の導入が完了しました。

このことにより、これまで散在している情報を集中管理し、乳児から高齢者までの健康状態の改善や保健指導・予防の推進に活用していきたいと考えています。

次に、近年、生活習慣や食生活の変化に伴い、高血圧や糖尿病などの生活習慣病が増加し、これらに起因したとみられる認知症や要介護者が増えています。

このような状況を踏まえ、妊娠期から高齢期までの7つのライフステージに対し、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「休養」「飲酒」「喫煙」「歯・口腔の健康」の分野ごとに、健康で自立した生活の維持・充実に図るために「健康増進」と「食育」に主眼をおいた総合的な計画の策定に取り組んでまいりたいと考えています。

次に、本町では、平成18年4月に施行された「障害者自立支援法」に基づき、平成19年度から28年度までの10年間を対象期間とした「第1期障がい者計画」を策定し、施策の推進を図ってきたところです。

その後、平成23年に「障害者基本法」の改正、平成24年「障害者虐待防止法」の施行、平成25年には「障害者自立支援法」が改正され「障害者総合支援法」が施行されました。

平成28年度は第1期計画の最終年度となりますので、現行の制度及び現状を踏まえて「第2期障がい者計画」の策定に取り組んでまいります。

また、全国の自治体で取り組みが急務となっています「地域包括ケアシステム」の構築については、桂川町並びに同じ生活圏域である飯塚市、嘉麻市と連携を図りながら、医師会、歯科医師会、薬剤師会、事業所等と検討・協議を重ね、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるシステムの構築に取り組んでいきたいと考えております。

次に、子育て支援として、待機児童解消のために吉隈保育所内の改修工事を行い、保育室を拡張し、定員の見直しを行いました。今後とも、状況を考慮しながら待機児童ゼロを目指して柔軟に対応していきたいと考えています。また、昨年開設しました子育て支援センター「ひまわりのたね」を拠点に子育てに関する相談・支援業務の充実に努めるとともに、地方創生総合戦略の施策や子育て支援事業計画に基づき、子育て世帯が暮らしやすい環境づくりを目指して取り組んでいきたいと考えております。

次に、農業委員会では、平成27年度に実施しました機構集積支援事業

によります農地の利用状況調査や農地台帳の整備等に継続して取り組んでまいります。

また、担い手への農地集積・集約化を促進するための環境整備を図り、農業の生産性向上及び農業構造改革の推進に努めます。

次に、土師地区にあります桂川町共同作業所（ライスセンター）は、昭和63年度の同和対策事業で建設した施設で、今日まで、約25年間にわたり、本町の農業振興の一翼を担って稼働していますが、老朽化が著しいため早急な施設の更新が必要な状況です。

今回、福岡嘉穂農業協同組合が事業主体になって、国の補助事業として施設更新を実施するにあたり、国の補助事業の採択要件として施設を農協へ譲渡する必要性が生じました。今議会に関連議案を提出していますので、よろしくお願いいたします。

次に、平成27年度のプレミアム付き商品券は、昨年7月と9月の2回に分けて販売しましたところ、購入者の数は延べ1,485人で、このうち、約7割が桂川町在住の方となっています。

プレミアム分を併せた総額1億5,600万円の商品券のうち、使用期間の昨年末までに1億5,580万2千円が換金され、換金率は99.87パーセントとなっています。おおむね良好に事業の推進がなされたものと評価するとともに、町内の商工業の活性化に一定の成果があったものと考えています。

なお、平成28年度につきましては、国、県等の動向を見ながら商工会等と協議を行い、検討していく必要があると考えています。

次に、平成27年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正法により、教育委員会制度が変わりました。

首長と教育委員で構成する総合教育会議の設置や教育大綱の策定などが義務付けられ、本町においても協議を進めてきたところです。教育大綱の内容につきましては、関係機関並びに町民の皆様にお知らせしていきたいと考えています。

次に、桂川幼稚園では、平成27年3月に策定した「桂川町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、平成28年度より在園時を対象とした延長保育を実施いたします。これは子育て支援の一環として取り組むもので、延長保育時間は教育時間の前後を想定し、朝は8時30分から、帰りは16時30分までを計画しています。

次に、社会教育では、子どもたちの体験活動を中心とした事業として、「夢・人・未来塾」や通学合宿等を実施していますが、新たな取り組みとして「食」に対する関心を高めるために農業体験事業等を展開していきたいと考えています。

また、教育シンポジウム等、教育活動の充実を図り、学校、家庭、地域の連携を強化するとともに、高齢者を対象にした「ことぶき大学」では、アンケートの結果を生かして、体づくりを基本にした講座等に取り組んでいきたいと考えています。

次に、文化財振興では、金比羅山古墳については、国の補助事業として範囲確認の調査を行い、報告書を作成してきたところです。また、天神山古墳についても国の補助事業として範囲確認調査を行いました。平成28年度も継続して調査に取り組み、平成31年度までにその成果を報告書としてまとめる予定です。

また、平成27年度の地方創生の先行型事業の一環として、王塚古墳を中心とする古代文化遺産の魅力・情報の発信に努め、町づくり及び観光振興を進める取り組みを行ってきたところです。具体的には、王塚古墳及び王塚装飾古墳館を案内する多言語対応音声ガイドの整備や金毘羅山古墳までの遊歩道整備、王塚古墳をモチーフしたロゴマークやグッズ等の作成を行っています。

平成28年度からは、これらの先行型事業の成果を活かして、総合戦略の4本の柱のひとつである「王塚プロジェクト」を推し進め、その魅力を町内外に発信して行きたいと考えております。

次に、図書館では、「子育て支援事業」の一つとして、ブックスタートに取り組み、生後4ヶ月、7ヶ月、12ヶ月、そして3歳児を対象に、事業の充実を図ってきました。これをさらに充実するため、図書ボランティアの更なるレベルアップを目指した研修会等を実施したいと考えています。

また、子どもたちの読書を推進するため、学校と連携して、家庭での読書「家読」をテーマとした講演会を実施する計画です。

次に、人権教育・啓発事業の推進につきましては、多様化する人権・同和問題に対して、より一層の人権教育・啓発を図るため、市民講座をはじめ、人権・同和問題地域懇談会、人権啓発パネル展の開催などに取り組み、差別のない明るい町づくりを進めてまいります。

次に、社会体育では、体育事業の充実を図るためスポーツ推進委員や体育協会及び総合型地域スポーツクラブと連携し、子どもたちの健康と体力向上を目的とした取り組みを実施しています。

また、スポーツへの関心をさらに高めていただくために「スポーツ教室」の開催や町民の皆さんの健康増進を図るための新たなスポーツとして注目されています「スポーツ吹き矢」の普及に取り組むたいと考えております。

さらに、東京オリンピック・パラリンピックの開催を4年後に控え、平成28年度からトップアスリートを招き、実技を交えた「スポーツ講演会」を開催したいと考えています。

次に、本年1月24日から続きました記録的な寒波により、町内において家庭用の水道管が数多く破損し、急激な漏水に対応することができずに止む無く「断水」という事態を招いてしまいました。住民の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたことをこの場をお借りしまして心からお詫び申し上げます。

また、水道管の凍結破損による修繕箇所は438件に上りましたが、水道事業者の皆さんをはじめ、多くの関係者の皆様のご理解とご協力をいただき、難局を脱することができました。改めまして心から感謝申し上げます。

なお、水道事業施設の更新基本計画につきましては、町全体の将来の水需要予測を行うとともに浄水場の機械・設備を診断し、配水池及び配水管等の施設を含めた水道施設の将来構想を立てて、中長期的な視点から更新計画の策定に取り組んでいるところです。

次に、一般会計予算について、概略のご説明をいたします。

まず、平成27年度補正予算第5号についてですが、補正額1億1,673万3千円を追加し、予算の総額を55億5,807万1千円に定めるものでございます。

今回の補正の主なものとしましては、低所得高齢者等を対象にした年金生活者等支援臨時福祉給付金として、歳入歳出ともに5,748万8千円を計上しております。

また、県立大学等と連携して、小・中学校の学力向上を図るための「土曜の風プロジェクト事業」に係わる経費について追加計上しています。

この2つの事業は、平成27年度国の補正予算第1号で措置された関係上、平成28年度に繰り越して実施することとしています。

この他、決算を考慮した精算見込等による補正予算を計上しています。

なお、議員報酬及び町長等特別職の給料等に関する特例条例に係る関係予算及び人事院勧告に基づく職員人件費についても整理をしているところです。

以上が、平成27年度一般会計補正予算第5号の主な内容でございます。

次に、平成28年度一般会計予算についてご説明いたします。

総務省が示しました平成28年度の地方財政対策の概要では、「極めて厳しい地方財政の現状及び現下の経済情勢等を踏まえ、歳出面においては、地方創生や地方の重点課題に対応するために必要な経費を計上するとともに、社会保障関係経費の増加を適切に反映した計上を行う一方、国の取組みと基調を合わせた歳出改革を行うこととする。また、歳入面においては、『経済財政運営と改革の基本方針2015』で示された『経済・財政再生計画』に沿って、交付団体をはじめ地方の安定的な財政運営に必要な

地方の一般財源総額について、平成27年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本として、引き続き生ずることとなった大幅な財源不足について、地方財政の運営上支障が生じないよう適切な補填措置を講じることとする。」とされたところです。

このような状況のもと、本町の平成28年度一般会計の予算は対前年度比1.1%増の53億5,980万7千円と定めているところです。

それでは、歳入予算の主な内容についてご説明いたします。

まず、1款・町税についてですが、税制改正や前年度実績等を勘案して、固定資産税において2.6%の増、軽自動車税では21.0%の増を見込んでいる一方、町民税において0.8%の減、町たばこ税では0.5%の減を見込んでおり、前年度に比べ、町税全体で1,440万9千円、1.3%の増となっております。

次に、10款・地方交付税でございますが、国から地方公共団体に交付される地方交付税の総額は16兆7,003億円であり、前年度と比べ546億円、0.3%の減となっております。本町の場合、普通交付税において、前年度決定額から3.8%減の16億9,631万7千円を見込んでおり、当初予算の計上額は16億5,462万8千円としております。特別交付税につきましては、平成26年度決定額の約25%減の2億円を計上しています。

また、18款・繰入金では、財政調整基金ほか4基金を、それぞれの基金条例の設置目的に沿って繰り入れを行っております。

続きまして、歳出予算の主な内容についてでございますが、2款・総務費では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略プロジェクト」や「社会保障・税番号制度、ふくおかハイパーネット」の再整備事業などに係る経費を計上しています。

次に、3款・民生費では、社会福祉や障がい者・高齢者福祉、子ども・子育て支援など、町民の皆様の社会生活を保障するのに必要な経費を計上しています。また、障害・遺族基礎年金受給者向けの給付金を含めた臨時福祉給付金につきましても、当初予算に計上しています。

4款・衛生費では、各種検診や予防接種、健康増進、ごみ処理など、町民の皆様が健康で衛生的な生活環境を保持するための関係経費を。5款・労働費では、嘉麻・桂川広域シルバー人材センター委託料などを計上しております。

6款・農林水産業費では、農業担い手への農地集積・集約化推進のための機構集積支援事業費や青年就農給付金事業補助金、農地や農業用施設の保全管理活動のための多面的機能支払交付金など、農林業の振興関係費を計上しております。

7款・商工費では、商工業の振興費や消費者行政関係経費を。8款・土木費では、町道山崎・上深町線道路改良工事や道路橋梁の修繕工事等に関する事業費を計上しています。また、都市再生事業として、J R桂川駅の機能充実や、王塚古墳等の地域資源を活用し、交流人口の拡大を図るとともに定住人口促進の町づくりを推進するための桂川駅周辺の整備事業費等を計上しています。さらに、町営住宅の建て替え事業に係る建築設計費や敷地の造成工事費などを計上しております。

9款・消防費では、飯塚地区消防組合負担金や、町消防団組織に係る経費を。10款・教育費では、小人数学級の継続や地域参画型の学校支援活動、けいせん学力アップ推進事業などの教育環境の充実を図る取り組みや、桂川幼稚園の延長保育の実施など、豊かな心を育む教育と文化のまちづくりの推進に係る経費を計上しているところです。

以上が一般会計予算の概要でございます。

今後とも限られた財源で、最大の事業効果が得られるよう努めていく所存でございますので、議員各位のご理解とご協力を賜われますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日も提案します議案は、人事案件に関するもの1件、専決処分に関するもの1件、財産の処分に関するもの1件、条例の制定、廃止及び一部改正に関するもの11件、平成27年度補正予算に関するもの5件、平成28年度の一般会計及び特別会計予算が6件、報告1件の計26件でございます。

人事案件につきましては、私から、その他の議案等につきましては、担当課長が説明いたしますので、慎重審議のうえ、議決賜りますようお願い申し上げます。行政報告並びに施政方針、提案理由の説明といたします。

どうぞよろしくお願いいたします。